



<こどもたちの大発見> ・どんぐりの赤ちゃん・ダンゴムシがレースする・カタツムリの赤ちゃん・ミミズの口・セミの羽化・シャクトリムシが木の色と同じになれる・メスのセミが鳴かない等々。

・「観て感じて気づく」ことで自然へのこどもの興味関心を膨らませる。  
・身近な自然への愛着を育む  
・こどもレンジャーの育成準備の土台をつくる  
  
<2025年3月までに>

- 8月まで5回実施、22家族。オブザーバー含め72名が参加。
  - こどもの興味を引き出し、自ら能動的に自然と関わるきっかけづくりができています。
  - 一人ひとりの指向や動きを観ながら、丁寧なコミュニケーションと伴走、それぞれへのアプローチができています。
- ↑
- ・人見知りで一度も自然の中で遊んだことのない4歳児の行動変化  
→最初は恐る恐る観る→ヒゲじいと一緒に触ってみる  
→自分から探しに行って、ヒゲじいに見せにくる  
→自分でやりたいと思うことにチャレンジする  
→自分より歳下の子に気を配ったり、親以外の大人の手をとって森を歩くようになった
  - ・Jr.レンジャーへの関心を引き出す  
→関心はあっても、受験や親が多忙で来れない等の事情で難しい
- ↓
- 親子共々50年森を知り、自然と親しむきっかけになっている

《現在の様子》



月1回  
親子の自然体験活動  
5組限定

<2024年4月～>

<大人の感想> ・いつも何かをする前にアカンよ～と止めていたので、まさか子どもがミミズに触れるとは知らなかった！ ・我が子の見たことがない一面が見えた。  
・こんなに身近な自然で遊ぶことができるんだ。 ・大人も子どもに戻った1日だった。  
・森では歳の差など関係なく遊べる。 ・街中にこんなステキな森があるなんて驚いた。  
・最近、地面や空を見ていなかったと気づいた等々。



- ・毎月の中野まちづくり協議会50年森整備へ参加。
- ・整備チームから鎮守の森の歴史や神事レクチャー。
- ・中野まち協、整備チームメンバーも活動に参加。



- ・中野地区広報紙「なかのよいまち」に活動掲載。
- ・中野まち協の総会に参加～事業計画へ「共催」。
- ・中野まち協主催の「ありがとう50年森フェスタ」にスタッフとして協力。